

【小学校算数 学習単元評価問題 小3 - 】

「たし算とひき算の筆算」	( )組 ( )番	名前
--------------	--------------	----

考え方 / 3	技能 / 6	知・理 / 1	A問題 / 9	B問題 / 1	/ 10
---------	--------	---------	---------	---------	------

1 500 + 700の計算のしかたを考えます。□□□ にあてはまる数をかきましょう。

500は、100が □□□ こ	700は、100が □□□ こ	
500 + 700は、100が □□□ + □□□ = □□□ こ		
だから 500 + 700 = □□□		

[1][知・理][A問題]

2 つぎの計算をしましょう。

(1) 
$$\begin{array}{r} 129 \\ + 347 \\ \hline \end{array}$$

(2) 
$$\begin{array}{r} 745 \\ + 578 \\ \hline \end{array}$$

(1)

(2)

(3) 
$$\begin{array}{r} 2765 \\ + 2345 \\ \hline \end{array}$$

(4) 
$$\begin{array}{r} 594 \\ - 158 \\ \hline \end{array}$$

(3)

(4)

(5) 
$$\begin{array}{r} 705 \\ - 466 \\ \hline \end{array}$$

(6) 
$$\begin{array}{r} 8465 \\ - 6372 \\ \hline \end{array}$$

(5)

(6)

[2] ~ [7][技能][A問題]



【小学校算数 学習単元評価問題 小3 - 】

「たし算とひき算の筆算」

解答例及び評価規準，評価の観点，設定通過率一覧

問題 番号	解 答 例	評価規準	評価の観点等					設 定 通過率 (%)
			考 え 方	技 能	知 ・ 理	A 問 題	B 問 題	
{ 1 }	$\begin{array}{r} \boxed{5} \text{こ} \\ \boxed{5} + \end{array} \begin{array}{r} \boxed{7} \text{こ} \\ \boxed{7} = \end{array} \begin{array}{r} \boxed{12} \text{こ} \\ \boxed{1200} \end{array}$	何百のたし算の計算は、100を単位として考えればよいことを理解している。						85
{ 2 }	4 7 6	(3桁) + (3桁)で繰り上がり1回の筆算ができる。						95
{ 3 }	1 3 2 3	(3桁) + (3桁)で繰り上がり2回の筆算ができる。						90
{ 4 }	5 1 1 0	(4桁) + (4桁)の筆算ができる。						85
{ 5 }	4 3 6	(3桁) - (3桁)で繰り下がり1回の筆算ができる。						90
{ 6 }	2 3 9	(3桁) - (3桁)で繰り下がり2回の筆算ができる。						85
{ 7 }	2 0 9 3	(4桁) - (4桁)の筆算ができる。						80
{ 8 }	式 230 + 182 答え 412円 〔完全解答〕	題意をつかんで立式し、たし算の筆算で考えることができる。						80
{ 9 }	式 182 - 78 答え 104円 〔完全解答〕	題意をつかんで立式し、ひき算の筆算で考えることができる。						75
{ 10 }	㊦ 例) もっていったお金500円からおつりの125円を引くと375円になる。だから、合計が375円の198円のウイナーと177円のきゅうりを買ったと言える。 次の , の両方にふれた説明や式なら正答とする。 もっていたお金からおつりを引いた金額 ウイナーときゅうりを買った金額	たし算と引き算の筆算を活用し、もっていったお金とおつりの差や、買った物の和を求めることにより、実際に買った品物を判断することができる。						65
合計 10 問			3	6	1	9	1	83.0